

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・思いや意向の把握 口頭でのやり取りで利用者の思いや意向を聞き取ってはいるがまだ十分でない	意思表示の困難な方の意向希望を十分に把握する	ご家族の面会の折、利用者をお交え意向や希望を把握する	12ヶ月
2		・チームでつくる介護計画とEニタリング 担当者のEニタリングを元にスタッフ全員が検討しているが、具体的根拠が乏しい	具体的根拠に基づく検討により現実に即した介護計画の作成	ケース記録のデータを基に客観的立場でのEニタリングを実施し短期目標も具体的にわかりやすく設定する	12ヶ月
3		・災害対策 火災の訓練を年2回行っているが近隣の方々の協力体制は出来ていない	近隣の方々にも訓練の重要性を説明し一帯に参加される体制作り	近隣の方々の積極的交流により当ホームを理解していただく。さらに訓練の誘導は訪問して参加していただくようアプローチする。	12ヶ月
4		・馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者の昔の友達や床屋等の支援のみとなっている	利用者の馴染みの方々が増え楽しいホーム生活となる	学校や地域のボランティアに積極的に働きかけ利用者さんと馴染みとなるよう交流の場を増やす	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の欄を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。